



2021年12月9日

各位

会社名 ビジヨナル株式会社
代表者名 代表取締役社長 南 壮一郎
(コード番号：4194 東証マザーズ)
問合せ先 業務執行役員 CFO 兼 CAO 末藤 梨紗子
(TEL. 03-4540-6200)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年12月9日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年9月13日に開示した2022年7月期（2021年8月1日～2022年7月31日）の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2021年8月1日～2022年7月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 37,700	百万円 2,670	百万円 2,990	百万円 1,760	円 銭 49.08
今回修正予想（B）	41,000	6,000	6,320	4,100	114.34
増減額（B-A）	3,300	3,330	3,330	2,340	—
増減率（％）	8.8	124.7	111.4	133.0	—
（参考）前期連結実績（2021年7月期）	28,698	2,368	2,274	1,420	43.37

2. 修正の理由

2022年7月期の通期連結業績予想につきましては、主力事業のビズリーチ事業において、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞の影響から脱却し、足元の事業成長が継続するとの前提のもと、売上高を見通しておりました。しかし、採用需要が想定よりも旺盛であることに加え、求職者の新規登録やアクティビティが活発であること等を背景に、事業成長が当初予想を上回るペースで進捗しており、連結売上高が当初予想を上回る見込みとなりました。

ビズリーチ事業の売上高予想を当初予想32,000百万円から35,300百万円へ変更したことに伴い、連結売上高を41,000百万円に修正しております。なお、ビズリーチ事業における、定常時の年間の売上高成長率は15～20%をターゲットとしており、中期的（3年）にはこの範囲に収斂すると考えております。また、ビズリーチ事業の売上高予想の修正により、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ前回予想を上回る見込みとなり、通期の連結業績予想の数値を上記のとおり修正しております。

（注）上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上